

事前評価チェックシート

計画の名称： 青森市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

| 事 前 評 価 | チェック欄 |
|---|-------|
| I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 上位計画に基づき青森市公共下水道事業計画を策定し、事業促進を図っていることから整合している。 | ○ |
| I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設を効率的に管理・運営することにより整合が図られている。 | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 スtockマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。 | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 定量的指標は、処理場、ポンプ場及び管渠における老朽化対策達成状況を量的に捉えており、効率的な管理・運営に適した数値である。 | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。 | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 処理場、ポンプ場及び管渠における長寿命化対策により、ライフサイクルコストの縮減を図ることができる。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性） 地域毎に住民説明を行うなど、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指している。また、下水処理場施設見学などにより、下水道の啓発活動も行っている。 | ○ |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |